

地域ブランディングへの取り組み「ジャパンテラス」

1

- ・リニア中央新幹線開業に伴うプロモーションとして、沿線地域を一体的にアピールすることが有効
- ・4県のリニア中間駅周辺圏域の連担を図るため、沿線地域が河岸段丘等の特徴的な地形と眺望を有することに着目し、圏域全体を「ジャパンテラス」と称して地域ブランディングを展開



© 2024 JR東海

景観



相模川・小倉橋（神奈川県） FUJIYAMAツインテラス（山梨県）



南アルプス・河岸段丘（長野県） 恵那峡エリア（岐阜県）

祭り



相模の大風祭り（神奈川県）



信玄公祭（山梨県）



御柱祭（長野県）



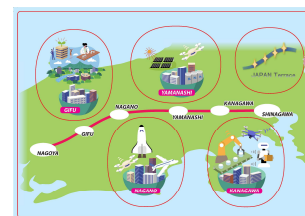
郡上おどり（岐阜県）



- ・ ジャパンテラスを敷衍していくためのポスターやノベルティーを製作し、イベント等で配布することで機運醸成を図る



【ポスター】



【マグネット】



【キーホルダー】



【チケットフォルダー】



【クリアファイル】

・中央新幹線の沿線の魅力・情報をご紹介

沿線：中央新幹線が通る1都6県の沿線の都県市町村

※中間駅(神奈川県内、山梨県内、長野県内及び岐阜県内)で36自治体が参画

**情報：各自治体のご紹介、観光イベント等各種情報、
当社が沿線で実施している取り組み等**



▲リニアでつながるまちポスター

○リニアでつながるまち×JR東海の取り組み（例）

1.「リニアでつながるまちフェア」

- ・2025年3月、名古屋駅中央コンコースにてブースを設置し、沿線地域の特産品や観光地等をPR
- ・合計25自治体が参加（総勢1,337名が来場）

2.駅構内にて沿線自治体等のポスター掲出等

- ・品川駅・名古屋駅にて沿線自治体等の観光誘致等のポスター掲出・パンフレット配架



▲品川駅でのポスター掲出、パンフレット配架

- 自治体・企業・地域コミュニティと連携して共創人口を創出する事業
- リニア中間駅の沿線地域において、地域内外から参加者を募り、地域資源を探索するフィールドリサーチやワークショップを実施している

関係人口から“共創人口”へ

地域の資源や営みを「自分ごと」として、共に育んでいく地域内外の人々を増やすことで、共創の土壌を育んでいる。



リニア中間駅の沿線地域での取り組み



【岐阜県・中津川市】LOCAL RESEARCH LAB



【長野県・飯田市】里山 LIFE アカデミー